

# 事業概要【サステイナブルツーリズム推進事業】

申請者	岐阜県下呂市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	15,000千円 (5,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>下呂温泉と周辺地域における「食農循環」のしくみを構築することで、サステイナブルな温泉滞在地としてより魅力を向上させ、全世界から新しい旅行先として注目、選択されることを目指す。</li> <li>温泉資源と環境への意識の高さを持ち、「食農循環」の枠組みから創造される新たな事業や観光商材などにより観光消費を増大させ、地域経済の活性化に寄与する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東海国立大学機構（名古屋大学・岐阜大学）と連携し、研究者や関連企業の知見・技術を基に、「食農循環」のしくみを構築を図る。食品ロスの利活用の実証事業を行うことを皮切りにして、企業の参画を図り、より先進的で収益化につながる事業へと発展させることを目指す。</li> <li>食品ロスを堆肥や燃料（バイオークス）に再活用する資源化をすることによって、それらの製品の流通販売・事業化を試みるほか、より付加価値を加えた再活用手法として酵母研究を通じたクラフトビールの製造を行い、新たな観光商材を生み出すことを目指す。また、これらの取り組みを、「食農循環」の枠組みに位置付けて、その過程にある農泊コンテンツ、林泊コンテンツを活用することで観光人口、関係人口の増加につなげることを検討する。</li> <li>廃棄物の削減、事業化による地域経済の活性化、新たな観光商材やコンテンツによる観光地としての魅力の向上により、サステイナブルな下呂温泉を世界に向けて発信し、知名度向上やイメージアップ、エシカル消費の喚起やインバウンド誘致につなげる。</li> </ul> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>食品ロスの現状分析、活用可能性調査、プロジェクトデザイン等の事業を委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サステイナブルツーリズム推進事業（委託料）5,000千円</li> </ul>				 <p>温泉旅館での豪華な食事</p>	
地域の多様な 主体の参画	下呂温泉旅館協同組合、一般社団法人下呂温泉観光協会等の参画により旅館等のニーズ把握、実証事業にかかる調整、事業の広報・プロモーションを行い、誘致につなげられる。				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市内年間宿泊者数（+290,366人）</li> <li>②下呂温泉外国人観光客宿泊者数（+45,975人）</li> <li>③宿泊消費額（10.1億円）</li> <li>④市内各地における観光の取り組みがうまく活用されていると感じる市民の割合（+13%）</li> </ul>